

DNA PREP -ECO RI-FROZEN KIT

KIT2029

編集日: 09.05.2022

部品表

物質名	特定名	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
EcoR1 Restriction Enzyme Vial	内部コード ASY2032			2 - 12
Lactics Agent, Vial	内部コード ASY2034			13 - 21
LYSING AGENT B, VIAL	内部コード ASY2038			22 - 29
LYSING AGENT A, VIAL (NAM)	内部コード ASY2037			30 - 38

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

項目1- 化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

製品コード

ASY2032

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途

研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC

941 Avenida Acaso

Camarillo CA 93012

アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300

FAX番号: 1-302-351-6454

メール: diagnostics.support@hygiena.comホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者）

diagnostics.support@hygiena.com**1.4 緊急連絡電話番号**

緊急時情報提供

1-302-695-5300

当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 17:00

項目2-危険有害性の要約**2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

項目3-組成及び成分情報**3.1 物質**

非該当（混合物）

3.2 混合物

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Glycerol	CAS-番号 56-81-5	50 - < 75		
Water, distilled	CAS-番号 7732-18-5	25 - < 50		
Sodium Chloride	CAS-番号 7647-14-5	1 - < 3		
Triton X 100	CAS-番号 9002-93-1	0,1 - < 1	Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Tris HCl	CAS-番号 1185-53-1	0,1 - < 1		
EcoR1 enzyme	CAS-番号 80498-17-5	0,1 - < 1		
ウシ血清タンパク質	CAS-番号 9048-46-8	< 0,1		
DTT	CAS-番号 3483-12-3	< 0,1		
Ethylenediaminetetraacetic acid	CAS-番号 60-00-4	< 0,1	Eye Irrit. 2B / H320 Repr. 2 / H361 STOT RE 1 / H372 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第 1 6 節を参照。

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の 診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の 診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開瞼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示
なし**項目5-火災時の措置****5.1 消火剤**

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)**5.3 消防士に対してのアドバイス**

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置**6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法**

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること、よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い、作業域内での飲食と喫煙の禁止、食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し、飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと、通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと、食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Glycerol	56-81-5	DNEL	220 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性一局所的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	152,8 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性一全身的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	216,6 mg/kg 体重/日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性一全身的作用
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	DNEL	1,5 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性一局所的作用
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	DNEL	3 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性一局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Glycerol	56-81-5	PNEC	1.000 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	PNEC	2,2 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	PNEC	0,22 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	PNEC	43 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期 (単回)
Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	PNEC	0,72 mg/kg	地球型生物	土壌	短期 (単回)

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置 (個人的保護措置)

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護 (バリアクリーム/軟膏) を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	測定できない
臭い	独特
融点/凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	100 °C
可燃性	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
爆発下限界及び爆発上限界	2,7 vol% - 19 vol%
引火点	測定できない

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

自然発火点	370 °C
分解温度	非該当
pH (値)	測定できない
動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	0,003 mmHg では 50 °C
-----	---------------------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	--------------------------------

他の安全特性

溶媒容量	97,63 %
固形分	2,46 %

項目10-安定性及び反応性**10.1 反応性**

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触危険物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

10.5 混触危険物質

酸化性物質

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

項目11-有害性情報**11.1 毒性学的影響の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

国連GHS 文書、付属書4: 吸入すると有害のおそれ。

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

項目12-環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動性

データなし。

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし。

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない。

12.7 他の有害影響

データなし。

項目13-廃棄上の注意**13.1 廃棄物処理方法**

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

項目14-輸送上の注意**14.1 国連番号**

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連出荷名

非該当

14.3 輸送時の危険性クラス

未特定

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない。

14.7 IMO 文書に基づいたばら積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない。

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AIIC	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	すべての成分が表示されていない
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AIIC	Australian Inventory of Industrial Chemicals
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

項目16-その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Aquatic Acute	水生環境有害性（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性（長期間）
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
STOT RE	特定標的臓器毒性（反復ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

EcoR1 Restriction Enzyme Vial

バージョン番号: 1.2

編集日: 25.04.2022

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H319	強い眼刺激.
H320	眼刺激.
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い.
H372	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害.
H401	水生生物に毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

項目1- 化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名	Lactics Agent, Vial
他の名称	Spermidine
製品コード	ASY2034

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究所と分析用途
---------------	----------

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC
941 Avenida Acaso
Camarillo CA 93012
アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300
FAX番号: 1-302-351-6454
メール: diagnostics.support@hygiena.com
ホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者） diagnostics.support@hygiena.com

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供
1-302-695-5300
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 17:00

項目2-危険有害性の要約**2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

項目3-組成及び成分情報**3.1 物質**

非該当（混合物）

3.2 混合物

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	75 - < 90		
Spermidine, Trihydrochloride	CAS-番号 334-50-9	10 - < 25	Acute Tox. 4 / H302	

省略の全文：第 1.6 節を参照。

項目4-応急措置**4.1 応急処置の記述****一般的な備考**

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開瞼しておき、最低 10 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

項目5-火災時の措置**5.1 消火剤****適切な消火剤**

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性**有害燃焼生成物**

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

項目6-漏出時の措置**6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法**

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意**7.1 安全な取扱いのための予防措置**

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い、作業域内での飲食と喫煙の禁止、食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し、飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

項目8-ばく露防止及び保護措置**8.1 管理パラメーター**

この情報は、入手できない。

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ることを、予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質**9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報**

物理状態	液体
色	測定できない
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない
自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH（値）	測定できない

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	--------------------------------

他の安全特性

溶媒容量	80 %
固形分	20 %

項目10-安定性及び反応性**10.1 反応性**

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触危険物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 混触危険物質

酸化性物質

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

項目11-有害性情報**11.1 毒性学的影響の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

国連GHS 文書、付属書4: 飲み込むと有害のおそれ。

混合物の成分の急性毒性推定値(ATE)

物質名	CAS-番号	ばく露経路	ATE
Spermidine, Trihydrochloride	334-50-9	経口	870 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

項目12-環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動性

データなし。

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし。

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない。

12.7 他の有害影響

データなし。

項目13-廃棄上の注意**13.1 廃棄物処理方法**

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

項目14-輸送上の注意**14.1 国連番号**

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連出荷名

非該当

14.3 輸送時の危険性クラス

未特定

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない。

14.7 IMO 文書に基づいたバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない。

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AIIC	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CA	NDSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	全成分はリストに記載されている
EU	ECSI	全成分はリストに記載されている
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	全成分はリストに記載されている
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	全成分はリストに記載されている

凡例

AIIC	Australian Inventory of Industrial Chemicals
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NDSL	Non-domestic Substances List (NDSL)
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

Lactics Agent, Vial

バージョン番号: 1.1

編集日: 09.05.2022

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

項目16-その他の情報**略語と頭字語**

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
ATE	Acute Toxicity Estimate (急性毒性推定値)
CAS	化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関)
DGR	危険物規則書 (IATA/DGR参照)
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

関連する警句のリスト (項目2と項目3で記すコードと全文を記載)

コード	文
H302	飲み込むと有害.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目1- 化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名	LYSING AGENT B, VIAL
他の名称	Lysostaphin
製品コード	ASY2038

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究所と分析用途
---------------	----------

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC
941 Avenida Acaso
Camarillo CA 93012
アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300
FAX番号: 1-302-351-6454
メール: diagnostics.support@hygiena.com
ホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者） diagnostics.support@hygiena.com

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供 1-302-695-5300
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 17:00

項目2-危険有害性の要約**2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

項目3-組成及び成分情報**3.1 物質**

非該当（混合物）

3.2 混合物

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	≥ 90		
Lysostaphin	CAS-番号 9011-93-2	0,1 – < 1		
Stabiliser		0,1 – < 1		

省略の全文：第 1 6 節を参照。

項目4-応急措置**4.1 応急処置の記述****一般的な備考**

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の 診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の 診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開瞼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

項目5-火災時の措置**5.1 消火剤****適切な消火剤**

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性**有害燃焼生成物**

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置**6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法**

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意**7.1 安全な取扱いのための予防措置**

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目8-ばく露防止及び保護措置**8.1 管理パラメーター**

この情報は、入手できない。

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ることを、予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質**9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報**

物理状態	液体
色	測定できない
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない
自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH（値）	測定できない

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	--------------------------------

他の安全特性

溶媒容量	100 %
固形分	0 %

項目10-安定性及び反応性**10.1 反応性**

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触危険物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 混触危険物質

酸化性物質

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

項目11-有害性情報**11.1 毒性学的影響の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

項目12-環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

12.4 土壤中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

項目13-廃棄上の注意**13.1 廃棄物処理方法**

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

項目14-輸送上の注意**14.1 国連番号**

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連出荷名

非該当

14.3 輸送時の危険性クラス

未特定

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 IMO 文書に基づいたばら積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること**輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)**

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

LYSING AGENT B, VIAL

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目15-適用法令**15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制**

追加情報がない。

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

項目16-その他の情報**略語と頭字語**

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目1- 化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名	LYSING AGENT A, VIAL (NAM)
他の名称	Mutanolysin
製品コード	ASY2037

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究所と分析用途
---------------	----------

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC
941 Avenida Acaso
Camarillo CA 93012
アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300
FAX番号: 1-302-351-6454
メール: diagnostics.support@hygiena.com
ホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者） diagnostics.support@hygiena.com

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供 1-302-695-5300
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 17:00

項目2-危険有害性の要約**2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

項目3-組成及び成分情報**3.1 物質**

非該当（混合物）

3.2 混合物

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	≥ 90		
Mutanolysin	CAS-番号 55466-22-3	0,1 – < 1		

省略の全文：第 1 6 節を参照。

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

項目5-火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目6-漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い、作業域内での飲食と喫煙の禁止、食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し、飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ることを、予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	測定できない
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない
自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH（値）	測定できない

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	--------------------------------

他の安全特性

溶媒容量	100 %
固形分	0 %

項目10-安定性及び反応性**10.1 反応性**

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触危険物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 混触危険物質

酸化性物質

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

項目11-有害性情報**11.1 毒性学的影響の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

項目12-環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

12.4 土壤中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

項目13-廃棄上の注意**13.1 廃棄物処理方法**

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

項目14-輸送上の注意**14.1 国連番号**

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連出荷名

非該当

14.3 輸送時の危険性クラス

未特定

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 IMO 文書に基づいたばら積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること**輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)**

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AIIC	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AIIC	Australian Inventory of Industrial Chemicals
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

項目16-その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関)
DGR	危険物規則書 (IATA/DGR参照)
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会

LYSING AGENT A, VIAL (NAM)

バージョン番号: 1.1

編集日: 04.05.2022

略	使用した略語の説明
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.